

東地協発 第11号  
2022年7月26日

お得意様各位

東京地区生コンクリート協同組合  
理事長 齋藤 昇一



拝啓 猛暑の候 貴社いよいよご隆盛のこととお慶び申し上げます。また、平素は弊協組運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。 さて、

残コン有償化について(お願い)

2014年4月に戻りコンの有償化制度を導入し、以来、持ち帰りコン(戻りコン+残コン)の削減を目指し、需要家並びに登録販売店のご理解を賜り、活動を展開してまいりましたが、残念ながら大幅な低減には繋がっておりません。また、この間、産業廃棄物処理場の処理能力は限界に近づき、受け入れ制限の観点からも処理費は高騰を続けております。

需要家におかれては、主要建設資材の製造に伴うCO2排出量の削減に向けた取組みを精力的に進めておられますが、生コンクリート業界として実施できる対策のひとつとして、持ち帰りコンの削減に努めて参りたいと思っております。

については、持ち帰りコンの削減に向けた抑止力の観点から、戻りコンと同様に残コンの有償化を下記のとおり導入することと致したく、事情ご賢察のうえ、ご理解ご了承を賜りますようお願い申し上げます。

(表 持ち帰りコンの直近推移)

年度	2017		2018		2019		2020		2021	
持ち帰りコン	数量	率	数量	率	数量	率	数量	率	数量	率
残コン	77	2.6	81	2.6	67	3.2	45	2.3	51	2.3
戻りコン	16	0.5	21	0.7	15	0.7	11	0.6	15	0.7
合計	93	3.1	102	3.3	82	3.9	56	2.9	66	3.0

注記:単位:数量千m<sup>3</sup>、率%

敬具

記

1. 導入時期

2022年10月1日

但し、2022年10月1日から2023年3月31日までは制度の周知期間とし、取消料の徴収は2023年4月1日出荷分よりとします。

2. 有償化内容

(1)残コンの定義 アジテータ車から一部荷卸し後、持ち帰る生コンクリート

(2)取扱い形態 出荷ベース 2023年4月1日出荷分より

(3)有償料金 残コン1㎡あたり「取消料10,000円」とします。

需要家のご負担額は、「商品代相当額+取消料10,000円/㎡」となります。

(4)契約を取消した生コンの確認方法及び伝票サイン

- ① 現場担当者立ち合いの下、運転手による目視確認をします。
- ② 「残コン・戻りコン確認書シール」を納入伝票(納品書、受領書)の裏面に貼付し、「残コン・戻りコン残数量確認シート」を参考にして目視確認を行う。残コン・戻りコン確認書シールに記載している「全量、4㎡、3㎡、2㎡、1㎡、未満」の内から該当する数量を○で囲み、現場担当者から確認のサインを頂く。(各数字の中間の量と判断した場合は少ない方の数字を選ぶ。)
- ③ 戻りコンの場合は、「全量」となります。
- ④ 残コンに限り、1現場1納入工場について、最後の納入車輛は対象から除外します。

以上